

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月15日		記入者	内線	2853
部 名	環境事業部	課 名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
事務事業名	大型生ごみ処理機導入モデル事業				
予算上の事務事業名	大型生ごみ処理機導入モデル事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施 策 名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進				平成14年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 調査・研究 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
家庭から排出される生ごみの減量化・資源化の推進のため、世帯単位による取り組みである 家庭用の生ごみ処理容器購入助成事業と併行して、市民主体の運営による集団的な取り組みの可能性を検討する。			公募で選定したモデル事業実施団体 2団体		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
・モデル事業実施団体・・・勝坂東自治会(戸建住宅)、相模台ハイツ自治会(集合住宅)それぞれ約100世帯中約50世帯が参加。(2団体とも公募で選定) ・役割分担・・・ 市 処理機設置費、処理機リース代、電気代 実施団体 処理機の自主的な管理(周辺の清掃、残渣の取り出し及び処分等)、2週間のごみ量調査(年4回)、アンケート調査(年2回)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
市費負担で大型生ごみ処理機を市営住宅や集合住宅等に設置している事例は他市にもあるが、本市のように住民主体による管理運営を導入している例はない。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	387	1,166	1,713	1,789	1,789
一般財源	387	1,166	1,713	1,789	1,789
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,678	1,602	1,614	1,614	1,614
事業コスト合計(a)	2,065	2,768	3,327	3,403	3,403
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	大型生ごみ処理機導入モデル事業			対象名称(単位)	処理機台数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	361	1,154	1,713	1,789	1,789
対象数	1	2	2	2	2
単位あたり経費(円)	361,000	577,000	856,500	894,500	894,500
前年度比		1.60	1.48	1.04	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	モデル事業実施規模		指標式と指標の説明	事業実施団体数(累積)		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1.0	2.0	2.0			
目標	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	参加数		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	50.0	98.0	102.0			
目標	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	98.0	102.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		モデル事業の実施結果の検証、環境省による安全指針の作成状況の確認、住民等の需要把握及び他の自治体の制度導入状況等の調査を踏まえて、助成融資制度の検討をすること。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 利用需要の高い制度設計			14 課題として認識されたこと 調査研究及び情報の収集			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		モデル事業の実施結果の検証と合わせて本格導入の可能性を検討する。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				